

第四章 おいしい方言

●——しりとリゲームが終わらない県

しりとリゲームが終わらない県、山形県の「おいしい方言」をご紹介します。山形県では、しりとりでうっかり「ん」で言い終わっても、「しまった！」とあわてず、つぎの人が、「んまい」「おいしい」【写真1】と続けられいいんです。反対の意味を表す「んまぐねえ」「おいしくない・よくない」でもいいです。ほかに「う」が「ん」に置き換わる例として、「んだば」「それじゃ、さよなら」などがあります。山形弁は、鼻音、濁音を多用するとなんとなくそれらしく聞こえます。というわけで、フランス語と似ているという人もいます。筆者が知っている人で、山形弁とフランス語がじょうずだと豪語している人がいて、確かにフランス語の発音で少し得をしているように聞こえます（しかし、フランス語が通じることとフランス語らしく聞こえることとはまったく違います）。

「なんじよだべ」【写真2】は、「いかがでしょうか」という意味です。「なん」「何」「じょ」「ぞ」は、「どんな」と置きかえることができ、それに「だ」「です」「べ」「か」がついた形と考えられます。

山形弁の特徴は、ほかにもあって、「し」「す」と「ち」「つ」の区別をしません。「やさいだす」【口絵写真⑨】

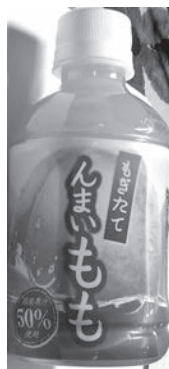
はその例です。「知らない」が「スらない」となり、「好き」は「しぎ」と変化します。

「ままけは（飯喰は）」「ごはんですよ」【W104-5】の「け」は「くえ＝食べなさい」で、一字ですんでしまします。「け」と言われたら「く」「くう＝食べる」と答えたり、「かね」「くわね＝食べない」と答えたりします。短くて余計なエネルギーを使わないので経済的です。
んだば。

（山・104）



【写真2】



【写真1】

●——土佐の「龍馬からの恋文」^{ラブレター} トイレットペーパー

二〇一〇年のNHK大河ドラマ『龍馬伝』は大変な人気で、全国各地の坂本龍馬ゆかりの地は歴史ファンや観光客で大変にぎわっていると聞きます。関連グッズも続々と登場していますが、そのひとつ、地元・高知では、坂本龍馬からの「恋文」^{ラブレター}を印刷したトイレットペーパーが発売され、話題になっていきます。中国語で「手紙」とはトイレットペーパーのことだというのはよく知られた話ですが、まさに龍馬からの手紙がトイレットペーパーになって登場した、というわけです。

これを作ったのは、家庭用の紙製品の製造・加工・販売をしている、高知県土佐市の望月製紙です。

同社によると、NHKの大河ドラマで『龍馬伝』が放送されることが決まった二〇〇九年三月、何か龍馬に関するものを開発しようと社内からアイデアを募集。その中から浮かび上がったのが、主力商品の一つであるトイレットペーパーに「龍馬からの手紙（恋文）」を書くことだった由。社の内外に「自分が龍馬になったつもりで『恋文』を書いてください」と呼びかけ、およそ二百点ほど集まった応募作の中から、人気投票によって決まったのが、製品化された四作品だったということです。

二〇一〇年一月のドラマの放送開始に合わせて販売を始め、高知県内や龍馬ゆかりの長崎県の観光みやげ品売り場などを中心に販売され、そのユニークさ、おもしろさもあって、旅の記念に、またプレゼント用などに、人気は上々だとのことでした。

文面は、まず龍馬が「おー 今日待ちよったぜよ、まあ、ゆつくりしていきや」とトイレで迎え、そのあと利用者へのメッセージがあり、最後は

悩みがあるのか？「悩みがあるのか？」

何でもゆーたらえいがよ「何でも言ったらいいよ」

ここには誰もおらんき「ここには（ほかに）誰もいないから」

ほんで 後は水に流したら「そして 後は（すべて）水に流したら」

えいがやき「いいんだから」

と励ます内容の文面四連が、連綿と繰り返されています【口絵写真②】。参考までに、共通語訳を付けておきました。

全部を読むと、個室での人生相談の趣きがあります。「恋文」というよりも、龍馬からの「人生の応援歌、処世訓、激励」といったほうがいいでしょうか……？

この手紙のおおむね二連ごとに点線状の切れ目が入っています。

そのように、人生の悩みにも適宜ふんぎりをつけ、うまく切り離されたトイレットペーパーといっしょに、不運や憤懣はすっきり水に流して解消できるといいですね……。

（日・113）

【参考】「望月製紙」のウェブサイトは、<http://www.fuwafuwa-roll.com>を参照。



【写真】

●——Googleマップによる“モータープール”の世界分布

今回も、日本の方言について全世界と関連づけうる新手法を紹介します。インターネットのGoogleマップを使うと、言語地図が簡単に作れます。

【図1】はGoogleマップを呼び出して、“モータープール”というカタカナで検索したときの日本地図です。関西にたくさんバルーンがあります。「モータープール」は駐車場の意味で、大阪付近で看板をよく見かけます。このシリーズのメンバーの日高さんが一九七九年に詳しく報告しました。他の地域だと「月極駐車場」または「月決駐車場」と書くところです。

県単位、地方単位の地図になると、もつと多くのバルーンが出ます。丹念に地域をずらして地図を保存すると、全国で使われていることが分かります。場所の説明を読むと、会社の業務用の車置き場の名前にも使われることが分かります。自衛隊でも使うそうです。さらに、Yahooなどで“モータープール”を入れて「画像」を検索すると、施設や場所の写真があり、実態が分かります。

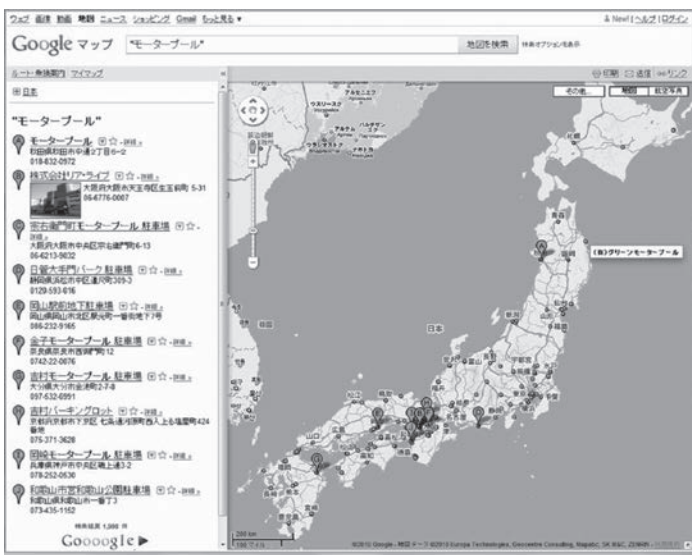
戦後まもなく作られた米軍の東京地図を見たら、大手町にmotor poolがありました。アメリカ陸軍の用語で、士官がジープを共用するための駐車場の意味でした。それが日本各地で、生き延びたのです。

ふと思いついて、Google maps（アメリカ版）でアルファベットの“motor pool”を入れて、世界地図レベルで検索しました。【図2】のように、みごとにアメリカに集中分布します。またフィリピン、オーストラリア、ヨーロッパ、アフリカなど世界各地に点在します。アメリカ軍の配置と関係がありそうにも見えます。国内の気づかない方言が、意外に世界全体の違いに対応しているのです。

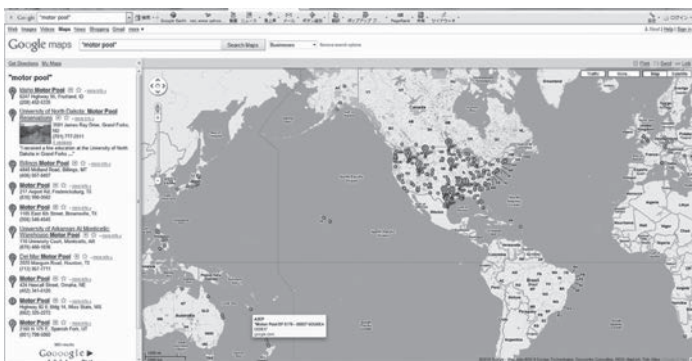
皆さんも思いついた単語の言語地図を作ったいかがですか？ そして結果を教えてください。なお付図のような形で地図を出す知恵について、またGoogleマップの画面の保存については、206〜207ページ「Google マ

ップで見る関西弁の世界進出」をご覧ください。

（井・132）



【図1】



【図2】